

中学校第3学年 国語科学習指導案

単元名：「考える」10代主権者へー社会の出来事について考えをもとうー

指導者：廿日市市立阿品台中学校 岡本 浩子

- 日 時 平成28年7月11日（月） 第3校時
- 学年・学級 第3学年2組（男子23名 女子18名 計41名）
- 単元名 「考える」10代主権者へー社会の出来事について考えをもとうー

1 単元観

本単元は、中学校学習指導要領国語第3学年「C読むこと エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと」を受けて、テキストから自分の考えを組み立てる力を高めることをねらいとしている。

言葉を介して自分の考えを組み立てる力は、次期学習指導要領に向けて整理された「言葉による見方・考え方」にも大きく関わっており、この力は国語科の学習だけでなく、各教科の学習や実社会・実生活における多様な問題解決の場でも活用できる力となるよう向上させていくことが求められている。

本単元は、テキストから自分の考えを組み立てる力を習得させ、国語科以外の問題解決の場でも活用できる力にまで高めるために、国語科のテキストと、他教科のテキストを指導の目的に応じて取り入れた学習活動を設定している。各教科のテキストには、人間、社会、自然について学習し、自分の考えをもつことを求める問いが多く含まれている。その問いについて考える学習を国語科の単元内に設定することは、テキストから自分の考えを組み立てる力を高めるために有効であると考えられる。

2 生徒観

平成27年度「全国学力・学習状況調査中学校国語」のB問題「適切な情報を得て自分の考えを書く」設問において、広島県の結果は正答率24.8%と低いものであった。また、平成28年度「基礎・基本」定着状況調査中学校国語の「根拠に基づいた考えの記述」の設問の県の通過率も、38.9%と低く、「テキストから自分の考えを組み立てること」は、本県の課題の一つであるといえる。

本校において、「テキストを読んで考えを書く」ことを問うプレテストを行った。その答案を確認すると、メモ欄を活用して下書きや構成メモを書いていた生徒は、23.1%であった。また、概ね満足できる解答の割合は32.7%であり、テキストを読んで考えを組み立てる力が十分についていないことが分かった。誤答を分析すると、「筆者の意見を繰り返して自分の考えではない」「自分の意見の理由や根拠が適切に示せていない」という解答が多く見られた。さらに、「既有知識や体験を根拠や例として挙げる」「新しい視点からも考えてみる」など、テキストの内容と他の知識を関連付け、考えを深めて表現したものはほぼ見られなかった。

これらのことから、生徒の実態として「考えをもつ」ことがどのようなことであるのか明確に理解しておらず、また、問いに対して何をどのように答えるか事前に下書きをすることなく書いていることが把握できる。そしてそれは、どの教科においても共通する実態であると考えられる。

3 指導観

本単元では、テキストから自分の考えを組み立てる力を、どの教科においても活用できるレベルに高めるために、次の2点の工夫を取り入れる。

1点目は、考えを整理し、適切に組み立てるためのツールである「思考図」を書くスキルを習得させることである。この「思考図」は、一般的な思考ツールと違って白紙の状態から生徒が任意の形式で作図するものである。生徒には、考えを組み立てる力に係わる要素として右に示す5つの要素を示し、既習の思考ツールを想起しながら、要素ごとに内容を書き出し、それらを論理的に関連付けていくのであ

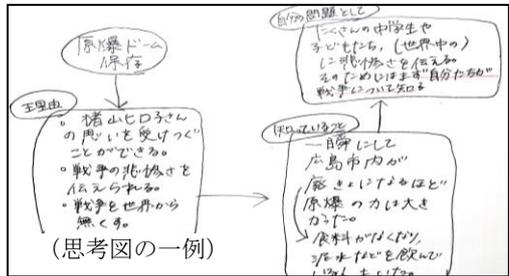
る。これらの要素は、思考場面や目的が変わっても考えを組み立てる上で求められるものであり、それを各自が任意の形の図を用いて可視化するのである（右図参照）。

この「思考図」は、従来の思考ツールのように思考場面に合わせて使う図を選択する必要がないため、汎用性があり活用しやすい。自力で図を書くことが困難な生徒には、既習の思考ツールの例や思考図のモデルを示しながら、思考を整理することをスキルとして習得させる。

2点目は、思考を整理するスキルの転移を図るような学習の展開を設定することである。習得したスキルが国語科以外の授業においても活用できるようになるために、他教科のテキストを用いた学習を、右図の学習の展開の中の①活用αと

③活用βに取り入れる。他教科のテキストの問いについて考える学習を、本単元の中で行うことで、「考えを組み立てるスキル」が他教科においても必要なスキルであることを実感させ、さらにどのような場面でどのように活用できるのか、意識させる指導（明示的な指導）を行う。このような学習の展開を工夫することで、考えを組み立てる力は、実生活や学校生活の場で活用でき、それはこれからも役に立つ力であるということを生徒自身にメタ認知させたい。

(テキストから自分の考えを組み立てる力の要素)
 ○考える目的や方向性に向けて構築する
 ○テキストについて分析・批判をする
 ○自分の既有知識と関連付ける
 ○新しい発想や問題意識をもつ
 ○論理的に関連付ける



| | | | |
|-----|---------------------------|---|--------|
| 第一次 | ① 活用α 既習のスキルを活用してみる。 | 「何のために学ぶのか」「いつ活用できるのか」スキルの習得の意味付けを行う。 | 明示的な指導 |
| 第二次 | ② 習得 スキルを汎用的なレベルで習得する。 | ①を受け、「何のためにどんな時に活用できるのか」意識させる。③での活用をめざし、汎用できるレベルで習得させる。 | 明示的な指導 |
| 第三次 | ③ 活用β スキルを自力で活用する。 | ①と②を踏まえ、文脈に応じてスキルを活用させ、スキルの定着を図る。 | 明示的な指導 |

4 単元の目標・評価規準

(1) 単元の目標

- 目的に応じて文章を読み、自分の考えをもったり深めたりしようとする。
【国語への関心・意欲・態度】
- 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつことができる。
【読むこと(1)エ】
- 文中の語句の意味を文脈に応じて理解し、語感を磨くことができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(イ)】

(2) 単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|---|---|---|
| ○目的や意図に応じて文章を読み、内容について自分の考えをもったり、考えを深めたりしようとしている。 | ○文章に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えをもっている。 ○文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもっている。 | ○文章を読む上で重要な役割を果たしている抽象的な概念を表す語句や接続語に着目し、内容の理解や構成の把握に役立っている。 |

5 単元を通した言語活動の特徴

単元を通した言語活動として、「社会的な事柄について自分の考えをもち、意見文を書く」ことを設定する。18歳選挙権がスタートし、早ければ3年後には主権者となる中学3年生にとって、身近な事だけではなく、広く社会の出来事に関心をもち、自分の考えをもつことは重要なことである。それを単元の導入で意識させ、目的意識をもたせることで、国語科や国語科以外の教科のテキストを読み、考えをもつ学習活動を意味付けし、さらに他教科の学習と関連付けて高めていきたい言葉の力を意識させることができると思う。

6 指導と評価の計画

全7時間（本時は6／7）

| 時間 | 学習内容と主な学習活動 | 評価 | | | | |
|---|---|----|---|---|---|--------------|
| | | 意 | 読 | 言 | 評価規準 評価方法 | |
| 一次 国語の既習事項を活用して考えを整理する〈家庭科のテキストを用いた学習〉 | | | | | | |
| 1 | ○単元の目標を知り、見通しをもつ。 (社会について考えをもち、表現しよう) ○「地域の食材を利用すること」について、国語の既習事項（構成、記述など）を踏まえて考えを書く。 ・各自で書いた考えについてグループで気付いたことを話し合う。 | ◎ | | | ・目的に応じて文章を読み、地域の食材について自分の考えをもとうとしている。 | 観察 ワークシート |
| 2 | ○考えを整理するための図を考える。 ・考えを組み立てる要素を見付け（どんな材料が必要か）、筋道とおった意見にする（どのように根拠を挙げるか）ための図を、モデル文を基に作成する。 | | ◎ | | ・文章を読み、根拠を明確にして自分の考えをもつ方法について理解している。 | ワークシート 観察 |
| 二次 「思考を整理する」スキルを習得する〈国語科のテキストを用いた学習〉 | | | | | | |
| 3 | ○テキストを読み、働くことの意味についての筆者の考え方をとらえる。 ・テキストの内容把握と語句の確認をする。 ・テキストの展開の仕方と、筆者の主張の中心を読み取り、感想を書く。 | | | ○ | ・文章を読む上で重要な役割を果たしている抽象的な概念を表す語句や接続語に着目し、内容の理解や構成の把握に役立てている。 | ワークシート 観察 |
| 4 | ○筆者の主張を踏まえて、働くことの意味について自分の考えを思考図にまとめる。 ・第1次で作成した「思考図」を活用しながら考えをまとめ、グループで発表する。 | ○ | ◎ | | ・文章の内容について、知識や経験と結び付け、根拠を挙げて自分の考えをもっている。 ・「思考図」を用いて、自分の考えを整理したり深めたりしようとしている。 | 思考図 観察 |
| 5 | ○「思考図」を見返し、「思考図」を書くことの意味を認識する ・第3時で書いた「感想」と本時の「思考図」の内容を比較し、どのように考えが深まったのかを振り返る。 | | ◎ | | ・目的に応じて文章を読み、根拠を明確にして自分の考えをもっている。 | 振り返りシート |

| 三次 習得したスキルを活用して考えを整理する〈社会科のテキストを用いた学習〉 | | | | | |
|--|---|--|---|--|-----------|
| 6 | <p>○テキストを読み、「広島に住む私たちが平和について考えること」について「思考図」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドームの保存を世界に呼びかけるために作成したwebページを読み、その1コーナーに載せる内容として、平和についての自分の考えを図にする。 ・「思考図」を自力で書く。【本時】 | | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・資料となるテキストを読み、目的に応じて人間や社会について多角的に捉えて自分の考えをもち、それを論理的に組み立てている。 | ワークシート思考図 |
| 7 | <p>○「広島に住む私たちが平和について考えること」について書いたことを発表しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思考図」をもとに書いた文章を読み合い、観点をを用いて他者と比較する。 <p>○社会をよりよくするためには、どんな主権者になることが必要か、話し合う。</p> | | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開の仕方や考え方などについて評価し合い、自分の考えを深めることができる。 | ワークシート |

7 本時の学習（第6時）

（1）本時の目標（第6時）

テキストを読み、平和について自分の考えをもち、それを論理的に組み立てることができる。

（2）観点別評価規準

資料となるテキストを読み、目的に応じて人間や社会について多角的に捉えて自分の考えをもち、それを論理的に組み立てている。 【読む能力】

（3）学習の展開（第6時／全7時間）

| 主な学習活動 | 指導上の留意事項（◇） ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て | 評価規準 (評価方法) |
|---|--|----------------|
| 1 前時の学習を振り返る。(3分) | | |
| (1)前時までの学習を確認する。 | ◇前時までに学習した思考図の意義や書き方を確認する。「考えを組み立てる力の要素」(=「意見の素」)を重点的に確認する。 | |
| 2 本時の課題と目標を確認する。(10分) | | |
| (2)原爆ドームの保存について書かれた社会科のテキストを読む。 | ◇「平和についての自分の考えを表現する」という目的を意識しながら、テキストを読むよう確認する。 | |
| (3)本時の課題と目標を確認する。 | ◇原爆ドームの保存を世界に呼びかけるために作成したwebページの中の1コーナーに載せるコラムとして、平和についての考えを書くことが課題であることを理解する。 | |
| 【本時のめあて】 広島に住む私たちが平和について考えたことについて思考図にまとめることができる。 | | |

| 3 個人で考えを組み立てる。(20分) | | |
|--|---|--|
| (4)資料となるテキストを読みながら、コラムを書く考えを、「思考図」にまとめる。 | <p>◇総合的な学習の時間や社会科で行ってきた「戦争」や「平和」に関する学習を想起させる。</p> <p>◇白紙のメモ用紙を渡し、各自で「思考図」を書いていく。</p> <p>◇「思考図」に書くべきポイントは、あらかじめ黒板に掲示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(意見のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テキストの内容に関する自分の評価・判断 ○評価・判断した理由 ○体験したこと・知っていること ○新しい考え方・自分の問題として思うこと </div> <p>◆社会科の教科書の内容を、web ページの内容として入れておくことで、テキストの内容の解釈が難しい生徒も書けるようにする。</p> <p>◆任意の図が書けない生徒には、「思考図」の枠型を渡し、取り組みやすくする。</p> | 資料となるテキストを読み、目的に応じて人間や社会について多角的に捉えて自分の考えをもち、それを論理的に組み立てている。(ワークシート, 思考図) |
| 4 「思考図」をもとに、意見を交流する。(12分) | | |
| (5)班で各自の「思考図」を交流し、気づきを出し合う。 | <p>◇交流の視点を相互評価表に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(交流の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> *意見のポイントが書けたかどうか。 *意見のポイントが相互に関連のあるものになっているかどうか。 *考える目的(平和を呼びかけ、原爆ドーム保存を訴える)に応じたものになっているかどうか </div> | |
| (6)全体で気付いたことを交流する。 | <p>◇各班で良いと思う「思考図」を挙げさせ、黒板にポイントを示す。</p> <p>◆特に、意見のポイントが相互につながりをもち論理的な考えとなっているかの判断が難しいため、全体で良い例を挙げて確認し、自分の「思考図」を再度吟味させる。</p> | |
| 5 本時の学習を振り返り、次時の課題をつかむ。(5分) | | |
| (7)本時の振り返りを記入する。 | ◇国語科で習得した「思考図」の書き方を、社会科でも自力で活用することができたか、振り返らせる。 | |
| (8)次時の課題をつかむ。 | ◇「思考図」を基に社会科のコラムを書き、相互に交流する。 | |

8 ワークシート

社会科のテキストの課題（平和に関するコラムを書く）

メッセージ from ヒロシマ

～ 原爆ドーム 保存へ ～

原爆ドームとは

原爆ドームの歴史についての文章

物産陳列館の画像

画像の説明

被爆後の原爆ドームの画像

画像の説明

世界へ発信 「平和」な社会の実現にむけて

原爆ドーム保存運動

原爆ドームの保存についての文章

(文責)

思考図の枠型

